

## 受持仁院長、新型コロナ5類移行をめぐり私見を投稿 フォロワーからの意見さまざま 5/8 中日スポーツ

新型コロナウイルス患者の診療に取り組み、メディアを通じ医療現場の声を発信してきた宇都宮市インターパーク倉持呼吸器内科の倉持仁院長が7日から8日にかけて自身のツイッターを更新。8日から新型コロナの感染法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行されたことに伴う私見を発信した。

7日夕方、「明日から5類。保険診療費用が変わります。熱などで受診時、診察+風邪薬=約800点（診療報酬、1点=10円）、自己負担（3割）2400円、PCR検査を受ける時は追加850点、自己負担2550円。総額約5000円かかります。受診すべきかの判断、かかる費用も考え自分で決める必要があります。なかなか大変です」と、金銭的負担について投稿。8日朝には、5類移行を報じる記事を添付し、「感染が増えつつある今、3年経った、5類になる、外国は落ち着いている、まだやってんの煽るなど現実を受け止めず、無防備の儘（まま）突撃しなければいけない状況から目を背ける事こそ同調圧力。原因を的外れな所に起因させ攻撃揶揄。現実を捉え的確な対応を！ 同じことを繰り返す事に！」と思いをこぼした。

異論を唱える立場から攻撃を受けることの多い倉持院長のツイートに、フォロワーは「5類になってもコロナはコロナ。手洗い消毒は忘れずに」「今まで通りの対応をし続ける事も同じことの繰り返しだと思います」「感染し後遺症に苦しむ人が増えない事を願うばかりです」「まだやってるの？ って言われている事、自覚してるやん」など、さまざまな意見が相次いだ。

### 倉持院長「3.5年前より悪い」新型コロナ5類移行前日の状況を報告 23/5/7

新型コロナウイルス患者の診療に取り組み、メディアで医療現場の声を伝える宇都宮市インターパーク倉持呼吸器内科の倉持仁院長が7日、ツイッターを更新。医薬品不足などを嘆き「3.5年前より悪い状況かと思えます」と訴えた。あす8日から新型コロナの感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行する。倉持院長は「咳止めのメジコンありません↑平時ですら一般薬枯欠してます。抗原検査自分でやったら陰性だったのでコロナじゃないと思えます↑誤解です。物不足は改善されず、コロナ前よりむしろ悪化。誤解拡散効果で患者さんの受療状態は悪化」とつぶやいた。

### 3月19%、4月28%、5月35%」倉持院長、コロナ陽性率上昇報告「しっかり検査早めの治療を」 23/5/5

新型コロナウイルス患者の診療に取り組み、メディアで医療現場の声を伝える宇都宮市インターパーク倉持呼吸器内科の倉持仁院長が、休日診療を続ける5日にツイッターを更新。「3月の陽性率19%から、4月28%、5月に入り、今の所35%と、連休の影響もありますが、少しずつ着実に増えてきています。しっかり検査、必要な方には適切で早めの治療を！」と訴えた。フォロワーからは「うちの関連施設でも数日前からクラスターになっています。今回は潜伏期間2~3日、急な発熱の人が多いです」「引き続き…うがい手洗いを実行中です」「（感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行する）8日以降感染者数の傾向を知る方法をどうしたらいいのか分からない時にこういう情報は貴重だと思います」「今後陽性者数の確認すらしなくなるので余計に自己管理ですね」などの声が寄せられた。